



夏の暑さもおさまり、少しずつ秋らしくなってきました。秋は、スポーツの秋、食欲の秋、実りの秋と楽しみの多い季節ですね。同時に、昼夜の気温差、また乾燥の始まる季節でもあります。体調管理には気をつけて、気持ち良い秋晴れの下、楽しい経験を沢山し健康な体を育てていきましょう。



10月10日は『目の愛護デー』

2つの10を横にすると眉と目の形に見えることから、10月10日は”目の愛護デー”とされています。乳幼児期は子どもの視力が最も育つ大切な時期です。生後は0.04程度しかなかった視力も、3歳から5歳では0.8～1.0程度までになり、そして6歳から8歳頃にはほぼ完成されるといわれています。この機会に改めて目の健康を意識してみましょう。

「見る力」を育てるポイント

- ★ 明るさ、暗さのメリハリある生活を。
日中は光を浴び、夜の就寝時は暗くすることを意識しましょう。
- ★ 自然の中で十分遊ばせ、外の景色を沢山見せてあげましょう。
目に良い刺激になります。
- ★ テレビやゲームは時間を決めましょう。
また、携帯やタブレットなど狭い範囲の平面画像を見続けることは、かなりの目の負担になるので乳幼児は避けることが理想です。



～登園のめやすのお願い～

今年の夏、未満児クラスでは手足口病の感染や下痢の症状の園児が多くみられました。早めのお迎えや病院受診にご協力いただきありがとうございました。引き続き毎朝の検温とともにお子様の健康状態のチェックもよろしく願いいたします。また、保育園という集団生活の特性上、他児への感染の心配もありますので、再度当園のホームページに記載されています『登園のめやす』を確認していただけたらと思います。

また、なかでも判断に難しい下記につきましては、改めてご確認とご協力の程よろしく願いいたします。

☆皮膚の異常・・・今までなかった発疹で原因が分からない。

☆目の異常・・・まつ毛に付くほどの目やに。原因の分からない充血、目のまわりの発赤。



これらにつきましては、医師から、「感染症ではなく保育園に登園可能」と、診断を受けてからの登園をお願いいたします。